

厚生文教委員会報告書

平成28年6月21日

備前市議会議長 鵜 川 晃 匠 殿

委員長 掛 谷 繁

平成28年6月21日に委員会を開催し、次のとおり議決したので議事録を添えて報告する。

記

案 件	審査結果	少数意見
議案第78号 備前市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用の公営に関する条例及び備前市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	なし
議案第82号 平成28年度備前市病院事業会計補正予算（第1号）	原案可決	なし

<委員会発議>

- 備前市総合運動公園多目的球場の第3種公認陸上競技場改修費用に係る予算化を求める決議

<報告事項>

- 男女共同参画基本計画について（市民協働課）
- 地域おこし協力隊について（市民協働課）
- 国際交流事業について（市民協働課）
- Bポイント制度の実施状況について（保健課）
- データヘルス計画書について（保健課）
- 備前市戦没者追悼式について（社会福祉課）
- 吉永幼保一体型施設整備について（こども育成課）
- 平成28年度全国高等学校総合体育大会2016情熱疾走中国総体について（文化スポーツ課）

<所管事務調査>

- Bポイント制度について
- 地域おこし協力隊について
- 日生温水プールについて
- 国際交流事業について
- 公共交通について
- 放課後児童クラブについて
- ふるさとづくり事業について
- とくし丸について

《 委員会記録目次 》

招集日時・出席委員等	1
開会	2
説明員紹介	2
議案第78号の審査	2
議案第82号の審査	3
報告事項	7
所管事務調査	9
委員会発議について	15
閉会	19

厚生文教委員会記録

招集日時	平成28年6月21日(火)		午前9時30分	
開議・閉議	午前9時30分	開会 ～	午後0時13分	閉会
場所・形態	委員会室A・B	会期中(第4回定例会)の開催		
出席委員	委員長	掛谷 繁	副委員長	山本 成
	委員	橋本逸夫		川崎輝通
		立川 茂		西上徳一
		星野和也		
欠席委員		田口健作		
遅参委員		なし		
早退委員		なし		
列席者等	議長	鵜川晃匠		
	委員外議員	なし		
	紹介議員	なし		
	参考人	なし		
説明員	市民生活部長	大西武志	市民窓口課長	山本啓之
	税務課長	大岩伸喜	市民協働課長	眞野なぎさ
	文化スポーツ課長	大道健一	環境課長	大森賢二
	公共交通課長	坂本基道		
	保健福祉部長 兼 福祉事務所長	高山豊彰	保健課長	山本光男
	介護福祉課長 兼 医療福祉連携課長	高見元子	社会福祉課長 兼 臨時福祉給付金対策課長	杉田和也
	子育て支援課長 兼 こども育成課長	丸尾勇司		
	病院総括事務長 日生病院事務長	植田明彦	備前病院事務長 兼 さつき苑事務長	金井和字
	吉永病院事務長	万波文雄		
	日生総合支所長	星尾靖行	吉永総合支所長	金藤康樹
傍聴者	議員	山本恒道	尾川直行	石原和人
		森本洋子		
	報道関係	なし		
	一般傍聴	なし		
審査記録	次のとおり			

午前9時30分 開会

○掛谷委員長 皆さん、おはようございます。

ただいまの御出席は7名です。定足数に達しておりますので、これより厚生文教委員会を開会します。

本日の委員会は、市民生活部、保健福祉部、市立病院ほか関係の議案審査、所管事務調査を行います。付託議案の審査を行いますが、終わりましたら委員会を一旦休憩し、予算決算審査委員会厚生文教分科会を開催して、一般会計の補正予算案を審査します。分科会が終了後、委員会を再開して所管事務調査を行いますが、その前に執行部からの報告事項をお受けしたいと考えております。よろしく申し上げます。

***** 説明員紹介 *****

議案審査に先立ち、このほど議会の構成がえにより委員がかわって初めての委員会ですので、執行部より説明員の方の紹介をお願いします。

○大西市民生活部長 市民生活部の説明員を紹介させていただきます。

(以下、部長から関係職員の紹介)

○高山保健福祉部長兼福祉事務所長 保健福祉部関係の説明員の御紹介をさせていただきます。

(以下、部長から関係職員の紹介)

○植田病院総括事務長(日生病院) 病院事業関係の説明員の紹介をさせていただきます。

(以下、病院総括事務長から関係職員の紹介)

○星尾日生総合支所長 日生総合支所長の星尾です。どうぞよろしくお願いいたします。

○金藤吉永総合支所長 吉永総合支所長の金藤です。どうぞよろしくお願いいたします。

○掛谷委員長 ありがとうございます。どうぞよろしくお願いいたしますを申し上げます。

***** 議案第78号の審査 *****

議案第78号備前市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用の公営に関する条例及び備前市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定についての審査を行います。

8ページをごらんください。

議案全体で何かございましたら、どうぞ発言をしてください。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようでございます。

質疑を終結してよろしいか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、質疑を終結します。

これより議案第78号を採決します。

本案は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、議案第78号は原案のとおり可決されました。

以上で議案第78号の審査を終わります。

***** 議案第82号の審査 *****

次に、議案第82号平成28年度備前市病院事業会計補正予算（第1号）の審査を行います。

○立川委員 この議案は、保険金支払いに関する議案だと思うが、和解された日にちがわかりますか。

○万波吉永病院事務長 平成28年5月24日です。

○立川委員 この件に関しては、昨年、事務長から報告がございまして、何か進展があれば委員会で報告をさせてもらいますと、たしか聞いた覚えがあるが、これは5月24日に和解されたということの理解をさせていただきましたが、委員会の報告はどう考えておられるのでしょうか。御存念をお聞かせください。

○万波吉永病院事務長 1月22日にこの委員会で報告をさせていただいています。それ以降、特に委員会での報告のチャンスがなかったと考えていますが、それで今回、議案として提出させていただいたと考えています。

○立川委員 その流れではなく、委員会で報告をしますというお約束をされたと思う。私の聞き間違いだったら申しわけないが、それは、いつされるのか。議案に出てきたからもういいという解釈でよろしいか。

○万波吉永病院事務長 5月24日に示談が成立したので、その次の委員会といいますとこの委員会になると思いますので、チャンスがなかったと申し上げたらよろしいでしょうか、そう考えております。

○立川委員 チャンスがなかったから、もう議案にしたということの理解をしておきますが、もしお約束いただけたのであれば、最初に御報告いただけるのがよかったですと思います。いかがでしょうか。

○万波吉永病院事務長 大変申しわけございません。委員会が開催されていませんが、前委員長には示談成立について報告をさせていただいていますし、議長にもその旨を報告させていただいています。ただ、委員会での報告ができなかったことについては、まことに申しわけなく思います。

○立川委員 できるだけ報告をしましょうということであれば、お知らせいただきたかったとは思いますが。

もう一点お尋ねをしたいが、これ、亡くなられたという死亡事故ですね、過剰投薬の。吉永病院というか病院で、例えば就業規則なり服務規程なりがあると思うが、そこに処罰というか罰則規定はあるのか、ないのか。

○万波吉永病院事務長 特に事故を起こしたからどうという罰則規定はないと考えます。

○立川委員 ごめんなさい、言葉が悪いです。罰則規定ではなく就業規則に懲罰規定の項目はあるのか、ないのか。

○万波吉永病院事務長 市に準じた形で懲罰規定はあると思いますが、全部適用になりどのような懲罰規定があるのか申し上げられません、勉強不足で、今、正しい報告ができませんが、同じだと考えます。

○立川委員 罰則をしなさいということではなく、罰則規定があるかどうかという。今回、このような事故なのに、改善の委員会ではいろんな施策をされます、マニュアルを見直します、中身の皆さんの肅正もやりますというお答えでお聞きはしているが、これだけの事故です、保険金支払いで医療事故、過剰投薬の死亡事故、何も処分がなされなかったのか、お尋ねをしておきます。

○万波吉永病院事務長 今、委員触れられましたが、事故が起こってから、病院の医療安全管理委員会がございますので、3度集まり原因究明と対応策について協議をしています。その中で、12月の中旬に再発事故防止の3つの策を報告書として管理者に出していますが、質問のありました、何らかの処罰がという質問については、処罰はございませんでした。

○立川委員 さぞかしドクターは喜んだでしょうね。民間ではまず考えられない。皆さんの職務規程の中でもあるじゃないですか、訓告とか戒告とか。事の重大さを、皆さん話をされたでしょうか。過剰投薬、医療ミスで死亡ということ、軽く考えているような気がするが、その辺の取り組み姿勢をお尋ねしたい。

○万波吉永病院事務長 死亡事故が起こったということは、病院としても大変重たく考えています。ただ、申し上げたいのが、事故後、遺族の代表の方から吉永病院が市立病院であり、市民が困るような状況になるのは望まないと、病院に対してどうこういう気持ちはなくて、投与した医師に対しても将来があることなのでそういう対応をしていただきたいというお言葉をいただきましたので、それに準じてというのはおかしいですが、処罰の対象とは考えておりませんでした。

○立川委員 全く次元の違う話のような気がするが、患者の御家族は、気を使っていたいて、病院が大ごとにならないようにという気遣いを見せてくれたという解釈です。それに対して病院は、ああそうですか、はいはいと、何もしない、処分しなさいということではないです、そういう姿勢すら、総括事務長、各病院、皆さん見えています、市民の皆さん見えているわけです。御家族の方から、勘弁してやってくださいという本当にありがたい気持ち、これを受けとめたら病院の中で何とか次の事故は起こさないというスタンスになれないでしょうか。言ってくさったからまあいいわと、ふたをしてしまうというような気がするが、その辺、私の考え方が間違っていますか、いかがでしょう。

○植田病院総括事務長（日生病院） 死亡事故に至ったことは、万波事務長が言ったように大変重く受けとめております。

私たち3病院とも情報の共有はしていますので、こういった事故が起こらないように、まず一

一番大事なことがそこだろうと思っています。今回の医療事故に対しては、処罰云々というよりも再発防止に努めるということが一番大事と今考えております。

○立川委員 本当に重く受けとめているのかどうかという尺度にしても、そういうことがないのかという、非常に我々の感覚とはずれることがあったのでお尋ねをしました。今後、ミスのないようにということで、先ほど吉永の事務長がおっしゃいましたが、再発防止に向けて3策をつくりましたと。一度見せてほしいと思いますが、いかがですか。

○金藤吉永総合支所長 お見せしたいと、お渡ししたいと思います、コピーを。

○立川委員 再発防止ということが一番大事だということをお尋ねしたが、今回の事故は過剰投薬ということで、この説明にもあるが、投薬について1点だけ質問します。

この前の事例を見ますと、他施設からの入院患者ということで、持ち込み薬ということが一番問題になりましたね、持ち込み処方ですね、違いましたか。お薬を持ってこられた中で、吉永病院と適合する薬がなかったということではなかったか。

○万波吉永病院事務長 関連の高齢者の養護施設に、吉永病院が協力病院となっている施設の患者に対して、当院の医師が投薬をしたということでした。ですから、当院の医師が介護施設を訪れて投薬したということです。

○立川委員 投薬、持ち込み薬も一緒ですが、服薬管理カルテがあると思うが、そういう点検はされたか、1点だけお尋ねします。

○万波吉永病院事務長 薬局での点検は、もちろんしています。ただ、そこで多いということに気がつかなかったところも事故の原因の一つだと考えています。

○立川委員 薬局でということだったので、薬剤師はかかわっておられのかどうか。それと、診療録の管理士、情報管理士は置いているのか。

○万波吉永病院事務長 当院で処方をしていますので、薬剤師は関係しています。それから、管理士というものは、置いてございません。

○立川委員 そこら辺を踏まえて、改善策をまた見せてください。くれぐれもそういった事故のないように、職員の皆さん、どうか気持ちを引き締めて、死亡事故ということを皆さんにもう一度徹底していただきたいと思います。よろしくお願いします。

○万波吉永病院事務長 委員のおっしゃることは至極もっともなことなことでと思いますので、病院を挙げて再発防止に努めてまいりたいと思います。

○川崎委員 所管が違っていたので詳しい内容がわからないが、聞いていて、単なる過剰投与というミスなのか、それとも診断ミスによる、診断の見方が悪くて、本来は50%か30%でいいお薬を100%も200%も投与した、そういう医者診断上のミスから来ているのか、それとも単に過剰に御本人に飲んでくださいと、わかりましたと飲んだためにそうなったのか、その辺、議論を聞いていても全然わからないので、そこだけはっきりさせていただきたい、いかがでしょうか。

○万波吉永病院事務長 施設に移られて間がなかった患者でして、施設に入る前に処方されている処方箋を確認したところ全く同じ薬がなかったために、当院にある別の薬を処方しました。その回数が多過ぎたということで、引き継ぎの処方箋の読み方を医師が勘違いをされていて過剰投与をしたという経過がございます。

○川崎委員 大体わかりました。施設が病院内ではなく福祉施設とですか、その患者ということで、少しそういう行き違いというのが起こり得たのでしょうかから、気をつけていただきたいと思います。

それと、せっかく補正が出ているので、疑問ということではないが、9ページ、キャッシュフローで、備前病院の資金期首残高1,000万円、資金期末残高600万円ということで、他の病院は2億円だとか7億円とか1億3,000万円、キャッシュの残高が非常に少なく、これでうまく備前病院は回っていくのか、この補正予算を見るとそういう不安を感じたので、実際のところどうか、他の病院に比べて備前病院のこういう残高の動きというのは十分に、運営上、支障は来してないのか。

○金井備前病院事務長兼さつき苑事務長 今回の補正には関係ない部分ですが、昨年、荻野管理者が議会でも言われたように、備前病院は非常に現金が少ないという現状は変わっていません。今、現金をふやす努力をしているところで、支障がないのかと聞かれれば支障があると言わざるを得ない状況です。何とかやりくりしておるという状況を御理解いただきたいと思います。

○川崎委員 支障がある、具体的な中身はどういうものか、少し支払いを待ってもらうとかそういうことでやっているのかどうか、よく理解できませんが、やはり他の病院、また合計では10億円という現金残があるのであれば、同じ備前市内の公的病院ということであれば、相互に補完し合う関係というのはできていないのか、どうでしょうか。

○植田病院総括事務長（日生病院） 3病院1施設、4施設がありますので、その中で貸し借りをしている状況です。

○川崎委員 そうということなら、資金繰りとか、備前病院の責任者は金井さんですか、少し苦しいという表現をしたのは間違いだというふうにししか理解できないが、いかがでしょうか。

○金井備前病院事務長兼さつき苑事務長 備前病院単体で考えれば、苦しい状況というのは変わりません。ただ、備前病院はさつき苑と一緒に。さつき苑は現金3億円ほどございますから、さつき苑との融通で何とか運営をしているということで、吉永、日生等からの資金の貸し借りというのは現在やっておりませんが、とりあえず大きな枠の備前病院でいけば回っています。ただ、備前病院単体で考えると、一番最初に申し上げた状況ですので、他の病院と同じように病院単体での現金を確保したいということで努力しているところです。

○掛谷委員長 ほかに議案全体で何かございましたら。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

質疑を終了してもよろしいか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、質疑を終結します。

これより議案第82号を採決します。

本案は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、議案第82号は原案のとおり可決されました。

以上で議案第82号の審査を終わります。

この際、暫時休憩をいたします。

午前 9時54分 休憩

午前 11時14分 再開

○掛谷委員長 休憩前に引き続き会議を再開します。

***** 報告事項 *****

報告をお受けします。

なお、報告事項については、報告を受けるのみにとどめ、質疑等については後ほどの所管事務調査とあわせてお願いしたいと思います。

○眞野市民協働課長 市民協働課より3点御報告申し上げます。

まず1点目は、男女共同参画基本計画についてです。

現在、第2次男女共同参画基本計画が平成24年度から28年度までの5年計画で進行していますが、最終年度の今年度中に次期計画を策定することとしています。この計画は、男女共同参画まちづくり条例に基づき、男女共同参画のまちづくりを総合的、計画的に進めていくための施策を示す基本計画です。社会情勢の変化等を踏まえて現計画を見直し、これまでの取り組みを継承しつつ新たな課題にも対応することとしています。昨年、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律、いわゆる女性活躍推進法が成立したことも踏まえての計画とします。12月ごろまでには、計画案を作成し、パブリックコメントを実施した後、男女共同参画推進審議会で御審議いただく予定です。

2点目は、地域おこし協力隊についてです。

4月1日付で8名、6月1日付で2名を新たに委嘱し、現在、総勢20名となっています。お手元に資料として一覧表をお配りしていますので、ごらんください。現在、人数がふえてまいりましたので、隊員同士の交流会を定期的に関き、横の連携をとり、活発な活動をしていただきたいと思います。

3点目は、国際交流事業についてです。

先ほども御質問がございましたが、6月27日、28日に韓国蔚山広域市東区より区町長を初め議員外約10名の方が備前市においでになる予定です。議員の皆様方には歓迎会等の御案内を差し上げていますので、出欠をお知らせくださいますようお願いいたします。

また、アメリカのメンロパーク市から訪問団、これは10歳から15歳が10名、大人の方が3名の計13名ですが、7月10日から17日の予定で備前市を訪れ、市内でホームステイ等を行う予定となっています。主な市内での活動については、市内中学校での交流とか、旧閑谷学校での学習などを予定しています。

また、韓国への蔚山東区へは、昨年度、MERSの影響で訪問を中止したため、今年度は7月26日から29日の3泊4日の予定で訪問をする予定です。小学校4年生から6年生16名と引率の予定になっています。

○山本保健課長 それでは、2点報告をさせていただきます。

まず、Bポイント制度の実施状況について御報告します。

委員の皆さんも既に「広報びぜん」やポスター、チラシ等を見ていただいていると思います。6月1日からBポイントの申請を受け付けたいしています。申請者は20日現在、昨日現在で大人1,235人、子供97人、合計1,332人です。商品の交換については、今後の登録者数がどのくらいになるかにより、来年の2月以降で引きかえ期間を設定しようと考えています。市民の皆さんへは来年の1月「広報びぜん」等でお知らせする予定としています。

次に、データヘルス計画書について、本日、計画書をお手元に配付させていただいています。

これについては、平成25年6月に日本再興戦略が閣議決定をされ、医療保険者はレセプト等のデータ分析に基づき、加入者の健康増進のための事業計画として、データヘルス計画を作成、公表し、事業実施する必要があるとの方針が示されました。これに伴い、平成26年3月にデータヘルス計画の推進を目指し、国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針が改正され、市町村国保険者は健康、医療情報を活用して、PDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るために、データヘルス計画を策定し、保健事業の実施及び評価を行うこととされたところです。

こうしたことから、昨年11月からこの計画策定に取り組んでいましたが、このほど計画書の策定が完了したので、本日お手元に配付をしています。

この計画は、28年度、29年度の2カ年計画です。今後の保健事業については、この計画に基づき実施してまいります。後ほどごらんいただきたいと思います。

○杉田社会福祉課長 備前市戦没者追悼式について報告させていただきます。

例年行われております備前市戦没者追悼式ですが、本年度については平成28年7月22日金曜日午前9時30分から備前市市民センターホールで開催されます。

市議会議員の皆様へは改めて御案内をお送りしますので、御臨席いただきますようよろしくお願いいたします。

○丸尾こども育成課長 4月9日に起工式を行い、現在、吉永地域においてこども園の建設工事を行っています。その建設工事について、6月16日に外周部へコンクリート擁壁を設置するために建設する倉庫の部分の掘削を行ったところ、倉庫の基礎の擁壁の一部が転倒して、倉庫が損

壊する事故が起きました。今後、補修を含めて業者と協議を行うことになろうかと思えます。

○大道文化スポーツ課長 来月7月28日から8月20日にかけて、岡山県を中心に中国5県で、平成28年度全国高等学校総合体育大会2016情熱疾走中国総体が開催されます。このうち、備前市では、7月28日から8月4日にかけてソフトテニス競技が開催されます。

競技日程は、女子の部が7月28日木曜日午後4時30分から久々井のセンターコートで開会式、翌29日から31日までの3日間が個人戦、団体戦の順に競技が開催されます。男子の部は、8月1日月曜日、同じく午後4時30分から開会式が行われ、翌2日から4日までの3日間で女子同様、個人戦、団体戦の順に競技が開催されます。なお、閉会式は、男女それぞれ競技終了後、開催されます。

個人団体を合わせ、女子1,012人、男子1,028人の計2,040人がエントリーしており、競技を繰り広げます。

この大会には8日間で延べ4万人が訪れると予想されていますが、会場周辺には駐車場が限られていますので、選手、監督、役員、来賓のみとし、応援者、一般観覧者の方々については、備前中学校、備前緑陽高校、片上小学校及び東鶴山小学校グラウンドを駐車場とし、会場までは無料シャトルバスで送迎することとしています。委員各位には、後日、駐車券をお配りさせていただきますので、御声援くださいますようお願いいたします。

○掛谷委員長 ほかにはございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

***** 所管事務調査 *****

所管事務調査に入りたいと思います。

先ほどの報告事項とあわせて、委員の皆様方から御質疑があれば申し受けます。

○橋本委員 Bポイント制度、現在、大人1,235人、子供97人ということで登録者の報告が先ほどございましたが、これは執行部が想定をされておった数字、まずまず満足だということか、それともまだまだ少ないからもっともってPRして集めなければならないと思われるのか、そこら辺の感想を聞かせていただけたらと思います。

○山本保健課長 予算計上については、人口の1割程度の人に参加してもらいたいということで、約4,000名程度の登録を見込んでの予算計上をさせていただいています。それからいきますと、まだ半分に届いていないという状況ですから、今後もしっかりPRをさせていただこうと思っています。あすも自治会連絡協議会等がございますので、そういったところに出向き、ポスター、チラシ等の掲示等をお願いし、啓発をしまいたいと考えており、できれば目標達成したいと思っています。

○橋本委員 さきの厚生文教委員会で九州の由布市を訪問して、これと同じような制度について研修してまいりました。そのときに、総務産業委員の方は御存じないと思うが、そこはBポイントと同じような制度で、物すごく効果を大変上げていました。特定健診の受診率も物すごく高

く、大分県内でトップだと胸を張って言っておられた。

今、答弁があったが、私はPR不足だけでそうなのかと思う。といいますのが、達成したときの商品、ちょっとこの金額が少ないのかなど。由布市は、たしか1万円だった。備前市が5,000円ほどでしょう。もっとそこら辺にこそ、どんとって、皆さん、このBポイント制度を活用していろんなスポーツもやってください、検診も受けてくださいというふうに、もっと大々的にPRしたらいいと思う。

執行部の方にお伺いするが、由布市の例は大いに参考にされたのでしょうか。

○山本保健課長 そのお話については以前にもお話を伺っておりますが、この制度を実施するに当たりましては、全国的に健康ポイントといった制度を実施しているところはたくさんございます。そういった各市町村の制度も参考にしながら、備前市独自のものをつくっています。他市の制度でいきますと、あくまで健康に関してのみでポイントをつけているところが大半でして、なおかつ年齢制限等も40歳以上であったり、20歳以上であったりといった年齢制限も結構設けているところが大半ですが、備前市については全市民を対象にするという特徴がまず1点目としてございます。そして、健康だけではなくボランティア等を初めとする社会貢献をしていただく活動に対してもつけていこうということで、備前市独自の、ほかにはない制度をここでつくっていますので、その辺は御理解いただきたいと思います。

それから、5,000円が少ないというお話も以前にいただきましたが、まずは今年度やらせていただき、登録状況等いろいろ考え、またそれについては検討させていただきたいと考えています。

○橋本委員 備前市独自のということ結構強調されるが、私はこういう場合には成功している先進地を大いに参考にすべきと思う。ですから、別にまねをしたということになるかどうかかわからないが、ある程度そういうことを参考にしながらいいところをとってよりいいものを備前市版でつくっていくということになると、成功しているところの事案を参考にしながらやっていただけたらと思う。まあとりあえずスタートしたばかりで、まだPRが行き届いていないから参加者が少ないというようですが、これで我々のこの委員会にもいい報告ができるようにより頑張ってください、もしこれで少なければ方針の転換ということも視野に入れて頑張ってくださいと思いますが、いかがでしょうか。

○山本保健課長 まだこれからですので、もちろん評価をして、数字的なもので評価ができるものもございます。例えば健診等であれば、受診率が27年度、28年度と比較してどうだったかといったことで成果というものが数字であられるようなものもございますので、そういったものをしっかり見きわめながら今後については要綱等の改正も踏まえ検討していきたいと思っていますので、とりあえず今の制度で今年度はやらせていただき、今後の状況を見ながらまた制度については若干の改正を加えていきたいと考えています。

よろしく申し上げます。

○星野委員 他市と異なって児童・生徒などの未成年にも枠を広げているわけですが、そこへの周知というのはどのようなことをやられているのか。

○山本保健課長 これから、各課でいろんな事業等で市民の方を集めた行事等がございます。そういうところでそれぞれ担当課で周知をしていただくといったこともこれからやっていく必要があると考えていますし、また職員等を通して、例えばスポ少といったようなところがございますが、そういったところへ職員を通して周知をしていただくことを個々にお問い合わせをして今いっているところです。

○星野委員 こども園や小・中学校への配布とか、先月送られてきた児童手当の申請書、そういうものに同封という考えはなかったのか。

○山本保健課長 今のところそういったことはしておりませんが、また何かそういった周知できる機会がございましたら検討してまいりたいと思います。

○掛谷委員長 よろしいですか、この件は。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ほかの案件で。

○星野委員 先ほどの報告事項の地域おこし協力隊について、現在隊員が20名、ホームページを見ると1名の募集がかかっているという状況だと思います。当初予算の予定では上限が23名ということでしたが、これには変わりはないのか。

○真野市民協働課長 今、募集をしているが、最近はこの市町村も大勢の隊員の募集をかけているようで、なかなか応募が少なくなってまいりました。地区からの要望があり、今後も引き続き募集をしていきたいところですが、上限が23名ということで予算も今のところはないので、様子を見ながら補正予算等でも対応させていただきたいと思っています。

○星野委員 上限が23名で、補正予算で対応ということですが、23名を超えた場合には補正予算で対応して隊員をふやしていくという考えでよろしいか。

○真野市民協働課長 実は、地区から要望が出ていますが、予算の関係もあるのでということで保留にさせていただいているところもあります。制度としては大変よい制度だと思っていますので、補正予算をにらみながら地区等の要望にも応えていきたいとも思います。

○星野委員 この配置状況を見ると、配属地域にかなり偏りがあるように思えるが、今後配置についてはどのように考えているか。

○真野市民協働課長 地区からの要望が出ていない地区も確かにございまして、伊部地区等には大勢入っているような状態です。今後、日生地区、片上地区等からも要望が上がってきているので、ほかのまだ導入されていない地区にも相談をお伺いして、全ての地区に入れていきたいと思っています。

○掛谷委員長 よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

では、ほかにあればどうぞ。

○橋本委員 4月1日から備前市が日生温水プールということで開始をして、約1カ月間無料開放してその後ということで、会員の獲得状況ですか、加入状況は今現在でどうなっているのかお知らせいただきたい。

○大道文化スポーツ課長 年間フリーパスということでよかったですでしょうか。これらは4月、5月の合計で94人です。

○橋本委員 大道課長は、平成27年9月24日に我々委員会がいただいた資料をお持ちでしょうか。日生温水プール年間運営費シミュレーションということで、前にいただいた資料があるが、それはお持ちでしょうか。

○大道文化スポーツ課長 いえ、この場では持っていません。

○橋本委員 この場で持ってなくても、引き継ぎでもらっていませんか、前任者から。

○大道文化スポーツ課長 ひもとけばあると思います。

○橋本委員 そんなに難しいものではないです。それを見ると、日生温水プールのスクール会員が、例えば250人だったらこれぐらいの赤字が出るからこれぐらい補助金を出さないといけないとか、それがだんだん下がってきて50人のケース、50人から250人ということでそういうシミュレーションをしているが、今の報告からするとケース4で下から2番目のスクール会員が100人までということになると、かなりの赤字補填をしなければならぬと思うが、そこら辺は今後。これ施設管理公社のほうに運営を委託しているわけですね。そういうことはある程度覚悟されているのか、執行部のほうは。今後増額しないとイケないのではないですか、そういうものを。

○大道文化スポーツ課長 公社と協力しながら会員獲得に努めてはいきたいと思っています。

○橋本委員 いやいや、会員獲得に努めるわけだが、今のところそれが余り功を奏していないと。私らは、プールだけで再開したらなかなか難しいと言っていたわけですが、温浴施設の部分がなくなるから。日生の場合は結構高齢者の方がプールを利用されて、プールの後で温浴施設で体を温めて帰るといったケースが多かったが、もうそれはだめだと、温浴施設はもう閉鎖のまんまだという格好でやられたわけですから。プールだけだったら、そんなにたくさん会員の獲得というのは望めないと言っていたわけですが、50人から250人ということで大きく幅を持たせたシミュレーションをされたわけだが、九十数名と言われましたよね。100人までということだったらかかなりの赤字が出てくる、1,200万円余りの赤字が年間予測されるわけです。だから、相当金額も施設管理公社に増額してやらなければならないのではないかとこのことを言っている。どんでしょうか、そこら辺は。

○大道文化スポーツ課長 最終的に3月末までの実績がどうなるかわかりませんが、次年度の指定管理の増額はやむを得ないという感じはしています。

○橋本委員 次年度だけで今年度は契約というか、しているからもうそれでおしまいだというこ

とですか。今年度もうふやしてやる予定はないということか。

○**大道文化スポーツ課長** 様子を見させていただきたいと思います。ここでするしないという断言は、ようしないと思います。申しわけございません。

○**橋本委員** 検討してやらないと、施設管理公社のほうはかわいそうだと思う。執行部が、いやいや、たくさん会員が獲得できるからあなたのところはいいなというような格好で委託をされているのであれば、あんたらが言っていることが間違っていたことになる。私は少ないだろうと予測していた。あんたらは、いや、たくさん来るということで250人まで見ているわけですから。だけど、結果的に少なくなりそうだとということであれば、早目の対応を検討されたほうがいいということを申し上げておきます。

○**掛谷委員長** この件以外では何かありますか。

○**星野委員** 国際交流について、国際交流で国別にどれぐらいの経費がかかっているか、26、27、28年度分を出していただきたいのと、今はやりの首長の出張関連経費、この国際交流に係る関連経費を次期委員会に提出いただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

○**眞野市民協働課長** 次回の委員会で御報告ということですか。御用意させていただきます。

○**掛谷委員長** 次回となれば、7月に考えてはおりますが、そのときぐらいまでにできますか。

○**眞野市民協働課長** はい。

○**掛谷委員長** では委員会があるときには、出していただきたいと思います。

ほかには。

○**西上委員** 公共交通で1つお聞きしたいが、地元の高齢者の方々がよく利用されているバス、乗り降りがしにくい高齢者の方、また荷物を持って乗り降りされる方をドライバーに手助けしてもらえるとすることはできないのか。

○**坂本公共交通課長** 基本的には、そういったことはしないようにはなっている。ただ、親切なドライバーの場合は、見るに見かねてするというのもあるので、できるだけ気配りをしてくださいということで指導はできるとは思います。

○**西上委員** 親切に任せるのではなく、そちらからぜひ指導していただきたいと思います。

○**坂本公共交通課長** バスの運行管理者とともに検討したいと思います。

○**星野委員** 公共交通について、新路線が4月から走っているが、それぞれの平均乗車率を教えてください。新路線だけです。

○**坂本公共交通課長** 新規路線だけで言いますと、寒河蕃山伊里線が27%、南北閑谷学校のぞみ線が5.6%です。

○**掛谷委員長** 公共交通について、ほかにありますか。

○**川崎委員** 今の色は備前焼をイメージした色かどうか知りませんが、岡山市内にめぐりんという小さなバスが走っています。あのほうが、西上委員が言ったように、ステップが低いような感じを受ける。今新しく入ったばかりで無理でしょうが、少し客の動向で乗り切れないような状況

でバスを大きくしたいということであれば、あのほうが10人か15人かよく知りませんが市民の足としてのイメージは非常に何かいい雰囲気というふうに、すれ違うときに思います。少し乗降する高齢者の立場でより床の低い、電車もありますね、最新のものは物すごく床が低いでしょう。ああいう感じでぜひ。古いバスも、備前バスから購入したのも走っているようですから、そういうものを切りかえるときにはああいうものを参考にしていただけただけということを要望しておきます。

○橋本委員 放課後児童クラブの件でお尋ねします。この件については、いつも私いろいろと申し上げているが、昨年度から岡山県の補助事業で、放課後児童クラブにもっと学習の部分をふやすということで補助金を出しますよということを新聞報道で見えています。我が備前市は、放課後児童クラブにそのような県の補助金をいただいて、学習部分をふやしたというようなことはありますでしょうか。あるいは、その後そういったことは一切考えていないのか。

○丸尾こども育成課長 放課後児童クラブの件ですが、平成27年度から確かに補助金はふえています。その分については、指導員の委託というのがメインだと聞いています。その中で、今委員おっしゃられますように、放課後児童クラブといわゆる放課後子ども教室があると思うが、この放課後子ども教室については管轄が文部科学省という中で、全児童を対象にスポーツや文化活動ができるように取り組みというのが言われているそうです。今言われた放課後児童クラブについては、厚生労働省の管轄で、親が共働き等で日中留守にするという中で、その家庭の児童を対象にして面倒を見るという活動になっていると認識はしています。したがって、放課後児童クラブの中ですぐに勉強というのは今のところすぐには難しいというふうに思っています。

○橋本委員 認識が全然ずれている、そりゃ、課長。去年かおとし、文科省の放課後児童クラブにもっと学習の部分をふやそうということで、というのがそうしないと1つの学校で放課後児童クラブと放課後学習教室か、何かそういったものが2本で動く格好になるでしょう。そういうのではなく、放課後児童クラブというのはさっき言われたような鍵っ子対策というか、そういうことでもうずっと古くからやっておられる。だけど、放課後児童クラブは昔は小学校3年生までだったでしょ。今6年生までです。そういうふうに学習部分もこれに取り入れて、ただ単に子守だけではなく、時間消費だけではなく、そこでいろんなことや学習もしましよと、宿題もやったり、そういう格好で文科省も指導しているわけです。去年、岡山県がそういうことにのっとって、放課後児童クラブにもっと学習面をふやすので、それで人手が必要ということになれば補助金も増額しましよということ去年打ち出したわけです、去年。きょう新聞記事を持ってきていないが、恐らく備前市は去年の段階でそういうものを使う予定はなかったが、こういうことを検討して、もっと使って、私は学習面もこの放課後児童クラブにもっともっとその比率をふやしてほしいと願っている。そういうお考えはありませんか。

○丸尾こども育成課長 現段階で放課後児童クラブについては、すぐに勉強までというのは非常に難しいというふうには思っています。その中で、今後放課後子ども教室等そういったことも考

えながら検討はしていきたいというふうには思っています。

○橋本委員 私が知る範囲では、放課後子ども教室は備前市内には存在していないと思う。全て厚生労働省の管轄の放課後児童クラブのほうでして、それでやっているわけだから、この放課後児童クラブに学習面をプラスしてということは今文科省も提唱しているので、二頭立てというのはおかしいから融合しなさいということを行っているわけで、もっと検討、研究してほしいと思うが、いかがでしょうか。

○丸尾こども育成課長 委員さんの意見を参考に検討させていただきます。

○掛谷委員長 その他、ほかの所管事項はございますか。

○星野委員 ふるさとづくり事業補助金についてお伺いします。

この申請が5月末で終わっているが、申請状況をお教えてください。

○眞野市民協働課長 14件で合計592万1,000円の申請がございました。

○星野委員 審査委員会の開催はいつごろなのか。

○眞野市民協働課長 審査委員会は6月17日に終わり、全て通りましたので、今後事業をしていただけたと思います。

○星野委員 審査委員会の委員の方を公表できるのであればお教えてください。

○眞野市民協働課長 副市長を委員長として、あと庁議のメンバーとなっています。

○橋本委員 「とくし丸」の件について、ちょっとだけ簡単に質問します。

その後、営業するエリアは広がりましたでしょうか、あるいは日数的なもの。ある地区では、うちほうらにも来てほしいと言っておられるところもあるが、その後の状況について簡単に説明いただきたい。

○高見介護福祉課長 9月からスタートして、いろいろと努力の結果といたしますか、なれてきたといたしますか、という状況の中で、ただいま日額が6万5,000円程度上がってきているという状況です。その中で、他の地域を考えていかななくてはいけないという関係者との協議もして、実は東鶴山地区へ説明をしていくということで準備を進めているところです。地区へ投げかけまして、地域からの意見を出してくださいということをお願いしており、その際にはこちらからの説明をさせていただきますということでの連絡待ちということにしています。

○橋本委員 例えば「とくし丸」に我が地区にも来てほしいということになると、市のほうに言っていけば検討はしていただけるということでしょうか。

○高見介護福祉課長 どこでもということにはならないと思うが、いろいろお店の少ないところなどを地図に落としつついたりとか、そういうことをしたり、それから商工会議所等にも相談したりということをして、東鶴山地区が少し困っているのではないかと考えてみました。

○掛谷委員長 ほかにございますか。

***** 委員会発議について *****

○立川委員 提案的なことですが、きのうもちょっと出たが、久々井のグラウンドです、公認の

分で。いろんな方法があるでしょうが、補助金を使うとか、予算をつけるとか、それからふるさと納税にかけるとか、企業版に持ちかけるとか方法はあるが、どうにか前にいってほしいという思いから、提案したいと思いますので、御検討いただけたらと思う。

○掛谷委員長 発議。趣旨を言ってください。

○立川委員 備前市総合運動公園多目的球場の第3種公認陸上競技場改修費用に係る予算化を求める決議ということで今お配りさせていただきました。報道等で御存じのとおり、東備地区の唯一の第3種公認陸上競技場、今のところ地盤沈下だとか、その改修費用が1億5,000万円とか数字が先行しておりますが、そういう必要な改修をしなければ公認陸上競技場から外れるおそれがあると。東備の拠点がなくなるということで、小・中学生、高校生、競技関係者、公式記録になりませんので、この辺お考えをいただきたく、市議会としてはスポーツ施設の機能維持、スポーツ振興に不可欠なものと考えて第3種公認陸上競技場として維持継続することを求め、更新に必要な改修費用その他の予算化を求めたいということの決議案です。御審議のほどお願いします。

○掛谷委員長 これは、岡山県備前市議会というよりも、今は厚生文教委員会ですので、厚生文教委員会で皆さんの御意見をお諮りしたいと思います。

御意見を賜ります。

○橋本委員 私は大賛成です。委員会で全会一致ならば厚生文教委員会で発議ができると思います。もし異論がある方がおられたら、議員有志ということで発議しなければならない。だから、ぜひともこの厚生文教委員会で私は発議ができたと思います、異議ありません、賛成です。

○山本副委員長 この陸上競技場の件、私も新聞報道で知ったが、市へは取材があったのか。

○大西市民生活部長 5月8日付の山陽新聞の報道についてと思いますが、部長、私を初め担当からは知らせていないという状況です。あそこに文化スポーツ課のコメントが書かれておりますが、あの件については内容について確認を求められたものと思います。

○川崎委員 今まで所管が違うので新聞でびっくりしたが、構成がえ前の厚生文教委員会でこの久々井のグラウンド問題はどの程度議論されてきたのか。なぜ、もう少し、当初予算ということをよく言われる議員もおられるので、当初予算にこういう決議などを提案して、誰も反対する理由がないと思う、これ。そういう審議経過と、もう一つテニスは結構使っていると聞いているが、一体この陸上競技場というのは年間どれぐらいの催しがあって、どれぐらいの人数が、延べ参加しているのか、集約したものがあるのなら参考までにお聞きしたいと思います。

○大道文化スポーツ課長 平成25年度2万5,480人、平成26年度1万9,009人、平成27年度2万1,724人、いずれも60回から70回程度の大会が行われています。

○川崎委員 構成がえ前の委員会でどの程度審議されたのか。継続のメンバーもいるから執行部も議論したかどうかぐらい覚えておろう。

○大西市民生活部長 予算等計上しておりませんので、審議には上がっていないと思います。

○川崎委員 あれだけ報道されて、1億円もかかるような重大な公式の陸上競技場にならないという状況が、事実はこの委員会では全然執行部も突然降って湧いたように地殻変動でへこんで、公式に認められなくなったという事実認識というのは最近のことという理解でよろしいか。

○大西市民生活部長 グラウンドの状況については、平成26年8月の岡山陸上競技協会による公認継続事前調査の際に指摘を受けています。

○川崎委員 そういう指摘を受けながら、執行部としては問題があるので調査、どれぐらい費用がかかるとかそういうことを委員会には全然持ちかけて、相談をそれ以降一度もしてなかったということか。それと、委員会としても、そういう議論というのを全く。この26年8月ということになればもう2年近くがたとうとしているが、所管が違っていたのでびっくりですよ。こういう大きな議題が一切知らされていないというか、所管の委員からも伝わってきていないというのはどうしてかという率直な疑問がある。その点どうでしょうか。

○大西市民生活部長 市側は26年度に指摘を受けていますので、27年、28年と予算要求はしていますが、予算案としては計上されていなかったということです。

○川崎委員 予算要求とか執行部の努力はわかるが、もし予算要求をされていない現状があるということとそういう報告はなぜ委員会に報告できないのか。していなかったというふうにしか思えないが、どうでしょうか。

○大西市民生活部長 していなかったということになります。

○川崎委員 まあ、そういうことで今こういう決議がこういう段階で出るということ。もう一点、これも新聞に出たかどうかわかりませんが、私も記憶が定かでないが、浜山グラウンドの野球場のスタンドがもう二、三年前からはとぼりをしているというか、危険ということでとまっている状態があると。利用者から言わすと、久々井以上に日生、浜山の陸上競技場は合宿とかで外の人も非常に使用頻度が高いと、そういうところをいつまでも放置しているのはやはりスポーツ施設の捉え方に欠如があるという指摘を厳しく受けています。これについても久々井と同じような状況でしょうか。予算要求しながらなかなか認められないから委員会になかなかできないという、現状方向について報告なり議論が全くされないまま二、三年過ぎたという認識でいいのか。

○大西市民生活部長 日生の公園ですが、こちらは都市公園でまちづくり部の管轄に建物自体がなっており、予算等も向こうで準備をされているものと思いますので、こちらではされていません。

○川崎委員 平田参与へ聞きますと、そういう修繕についてはまちづくり部だが、日常の運営についてはこちらの教育委員会関係とかなんとかということを知りました。私は、運用上の問題からいえば、深刻な問題ですよ。危険状態でそういうことを放置している、それぐらいスポーツは軽視しているんだというあらわれも、何年間も放置していること自体が私は問題だと思うので、つくるかつくらないの問題ではなく、利用者にとって不都合があるかどうかという観点からいえば所管事項ではないですか。一切問題提起されないわけですか、またそういう論議をここでしな

いのか、過去。それこそ最大の問題だと思います。運用上の問題で支障があるという認識はなかったのかと問うている。誰があそこを管理しているのか。責任者の方答弁をお願いします。

○星尾日生総合支所長 これは、指定管理で施設管理公社が管理をしています。そのもとでは文化スポーツ課が指定管理に出しています。ですから、施設の今のやりかえとかというのは、今部長が言われたとおり、都市公園ですので、まち整備課でやっていただくような形ではやっていますが、施設の管理としては文化スポーツ課になると思います。

○川崎委員 だから、直す直さないではなく、何年間も使用者にとっては不都合を感じているという苦情が出ているわけです。施設管理公社を通じて、その施設管理公社を管理している課がこの2年、3年どういう対応をしてきたのか、またそういう相談をなぜ、運用上の問題としてこの厚生文教委員会にかけるといって議論ではないかということを行っている。久々井もそうだが、久々井なんか金額が大きいから遠慮しているのかどうか分からないが、浜山というのは大した金額ではないでしょう。億もかからないでしょう、何百万円か何千万円か知りませんが、現場をよく見てないのでこれが終わり次第見に行こうと思う。そういうことを問題提起して相互に委員会と執行部が両輪として機能しないと、結果として市民が被害を受ける、不都合が生じるではないか、そうでしょう。若者が、高齢者も利用するなら、市民が不都合を生じているではないですか。その問題はどのような認識を持っているのか。管理公社の責任者が発言して。

○大西市民生活部長 管理公社の責任者ではないですけども……。

○川崎委員 誰なの、いないの管理公社というのは、ここの所管じゃないの、失礼なけど。

○大西市民生活部長 また別です。

○掛谷委員長 委員長として発言させていただきます。縦割り行政みたいな形になっておりますので、今の関係部署の文化スポーツ、それからまちづくり部、そういったところをよく協議しながら、今各委員から話があったことをよく伝えて、市民また利用される方々に便宜をきちっとするように協議をしていただきたいと思いますので、川崎委員、それでよろしいですか。

○川崎委員 はい。きょうは継続ということだから、次回ぜひ久々井も浜山も委員会として視察に行って現状認識を一致しましょう、どういう点が問題があるかということだけ要望しておきます、委員長。

○掛谷委員長 はい、それは受けとめておきます。

もとへ戻りますが、この第3種の公認陸上競技場の予算化を求める決議について、どのようにお諮りしましょうか。

○川崎委員 諮る前に、何年間にわたって徐々にへこんできて、いよいよ基準以下になったために、今から2年前になったという段階で、よくわかりませんが、普通ちょっとへこみがあるなら山土を入れるのか、人工芝ならそれを剥がして埋め合わせすれば済む問題という素人認識ではある。執行部は、そういう努力も一切この2年間されてきてなかったという認識でよろしいか。

○大道文化スポーツ課長 ウレタンチップ舗装ということですので、山土を入れるとかそういう

た応急処置では対応できないということでございます。

○掛谷委員長 それでは、これ厚生文教委員会として全会一致であれば、我々のところの発議ということになります。全会一致でいいのか、異論があるのか、どうでしょうか。

○川崎委員 直す必要があるなら、異論はないじゃないですか。直す必要がない、陸上競技場を潰せという人がおるならしょうがないけど。

○掛谷委員長 全会一致としてこれをするかどうかということをお諮りします。決というか、決というよりは反対をされる方、反対というかこれを反対される方はおられますか。賛成をされる方は全員ですか。挙手をしてください。

〔賛成者挙手〕

全員がこのことに関しては決議をするということになりましたので、厚生文教委員会としての発議を申し上げます。

もう。ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それではこれで厚生文教委員会を閉会します。

皆さん、御苦労さまでした。

午後0時13分 閉会